

科目名 (科目番号)	感染と予防 (061221)	教員名	小池 和子 桜井 直美	学科等	理学療法	必修	履修年次	2
				曜日・時限等	時間割参照		単位数	1
				オフィスアワー		非常勤		
授業概要	人間に感染症を起こす病原微生物について基礎的な知識を学び、さらに感染症対策の基本を習得する。次いで、人々を病原微生物の感染から守るための基礎知識・技術を学び、さらに院内感染の予防と対策について学ぶ。							
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。							
授業計画	回	授業項目	学習内容・到達目標					
	1	感染と感染症	到達目標: 感染の成立、感染症の発症に至る要因を理解する。 学習内容: 感染や感染症の意義、発症要因などを学習する。					
	2	感染予防(1)	到達目標: スタンダードプリコーションや手指衛生の5つのタイミングについて理解を深める。 学習内容: 感染予防の基本的概念を学習する。					
	3	感染予防(2)	到達目標: 手洗いの意義と手洗い手法、手洗いの問題点について理解する。 学習内容: 感染予防として重要な手技である手洗いについて実践を交えて学習する。					
	4	感染予防(3)	到達目標: 感染経路別予防策について理解を深める。 学習内容: 様々な感染経路とその予防策について学習する。					
	5	滅菌と消毒	到達目標: 滅菌法と消毒法の重要性について理解を深める。 学習内容: 環境中に存在する様々な微生物を除去する方法である滅菌法と消毒法について実践を交えて学習する。					
	6	リハビリテーションと感染予防策	到達目標: リハビリテーションにおける感染予防の重要性を理解する。 学習内容: リハビリテーションにおける感染予防の考え方を学習する。					
	7	感染予防対策のまとめ	到達目標: 院内感染を防ぐための、行政の取り組みや法律などについて理解を深める。 学習内容: 感染症法、医療法などの法律や医療機関での取り組みを学習する。					
	8	総合まとめ						
	成績評価の方法・基準	講義内の課題、レポート(40%) + 期末試験(60%)						
教科書	微生物学・感染看護学		岡田忍他編			医歯薬出版		
参考図書	系統看護学講座 微生物学		南嶋洋一、吉田真一著			医学書院		
教員からのメッセージ	毎回資料を配付します。また、実技も行いますので積極的に参加してください。							